

International GAP (国際的適正農業規範) 対応の 食料管理専門職業人の養成

ニュースレター No.1 (2011.11.07)



はじめに

～宮崎大学からはじまる新たな食の安全管理教育プログラム～
日本有数の食料生産地帯で地域産業を基盤としたオンリーワンの教育を

本年度4月から、文部科学省特別経費(高度な専門職業人の養成や専門教育機能の充実)の採択を受け、『International GAP(国際的適正農業規範)対応の食料管理専門職業人の養成』事業を実施しています。この事業は、宮崎大学農学部に入学者を、国際標準のGAPに則した、食の安全を管理できる専門知識や技術を持った人材として養成するためのものです。

この度、当該事業について、より詳しく知っていただくために、『GAP事業推進室』からニュースレターを発行することになりました。これからいろいろな情報を発信していきますので、どうぞよろしくお願いいたします。



活動報告

GAP (Good Agricultural Practice の略称) とは、日本語で『適正農業規範』あるいは『農業生産工程管理』と呼ばれており、『優良な農業の実施のためのさまざまな基準を体系的にまとめたもの』を意味します。

1 木花フィールド(農場)の JGAP 認証取得を目指して

当該事業で開発を目指す実践型教育プログラムの大きな特色の一つとして、「GAP 認証を取得した附属農場」での学生実習があります。

現在、いろいろな方にご協力いただきながら、日本初の大学附属農場のJGAP 認証取得に向けて、フィールド職員の方々と一緒に頑張っています。



毎週水曜日の勉強会



農場コンサルタント・丸田さんの
JGAP 認証に向けての事前指導

また、農場実習を受講する学生さんへGAPについての説明や、圃場の土、水の検査、収穫物の残留農薬検査等も実施しています。

2 FD/SD 研修会の開催

GAP についての理解を深め、国際標準のGAPに対応した教育プログラムを開発していくために、FD/SD 研修会を開催しています。



GAPに取り組んでいる
農業生産法人(㈱新福青果さん)を見学



大野先生の『海外の農業生産現場に
おけるGAPの取り組み』

上記以外にも、企業のGAPに関する取り組みについての講演や、GAPの考え方を取り入れた授業の参観等も実施しています。

また、研修時にアンケートを行い、内容の充実を図っています。

月に1回程のペースで実施していますので、是非、一度ご参加下さい。

3 情報の収集・発信 など

GAPに関するシンポジウムや農水省の説明会、JGAP 指導員基礎研修等に参加し、GAPに関する情報を収集しています。

また、前述のFD/SD 研修会のほか、『オープンキャンパス』や『宮大の日』でのパネル展示、ホームページ等で情報発信を行っています。

今後は、大学祭や住吉牧場の開放イベントへの参加やシンポジウムの開催等も行っていく予定です。



オープンキャンパスのようす

【お問い合わせ】GAP 事業推進室

〒889-2192 宮崎市学園木花台西 1-1
宮崎大学農学部 (N708 号室)
PHONE/FAX : 0985-58-7165
E-mail : muigap@cc.miyazaki-u.ac.jp
URL : <http://www.cc.miyazaki-u.ac.jp/muigap/>

『International GAP 対応の食料管理専門職業人の養成』ニュースレターは、宮崎大学の人材養成の取り組みを広く紹介するために、農業法人や食品関連企業などの関係者に配信しています。

このニュースの配信を希望される方を募集中です。GAP 事業推進室までご連絡下さい。